

## 2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 長瀬産業株式会社

コード番号 8012 URL <https://www.nagase.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 朝倉 研二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部本部長 (氏名) 高見 輝

TEL 03- 3665- 3103

四半期報告書提出予定日 2018年11月7日

配当支払開始予定日

2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	404,459	4.4	13,431	6.5	13,910	0.8	10,321	17.8
2018年3月期第2四半期	387,501	10.4	12,606	74.1	13,802	84.5	8,760	87.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 14,341百万円 (15.0%) 2018年3月期第2四半期 16,863百万円 (892.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	82.43	
2018年3月期第2四半期	69.46	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	593,323	319,364	53.0	2,511.98
2018年3月期	569,456	308,804	53.3	2,424.97

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 314,529百万円 2018年3月期 303,636百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		17.00		23.00	40.00
2019年3月期		18.00			
2019年3月期(予想)				19.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	828,000	5.6	25,500	5.7	27,500	5.8	18,600	8.3	148.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	127,408,285 株	2018年3月期	127,408,285 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,196,209 株	2018年3月期	2,195,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	125,212,124 株	2018年3月期2Q	126,118,383 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報および合理的であると判断する前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	12
(1) 海外売上高	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 業績全般の概況

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、堅調な企業収益を背景に緩やかな回復基調を維持しましたが、自然災害による消費や生産等への影響がリスクとして認識されました。また、世界経済においても、米国における企業業績の堅調な推移等を背景に全体として緩やかな回復基調を維持しましたが、米中における貿易摩擦により、先行きの不透明感が増しております。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の業績は、国内販売は2,022億4千万円（前年同期比+5.0%）、海外販売は2,022億1千万円（同+3.7%）となった結果、売上高は4,044億5千万円（同+4.4%）となりました。

利益面につきましては、国内外における全般的な増収や製造子会社における収益性の改善等により、売上総利益は529億1千万円（同+5.4%）、営業利益は134億3千万円（同+6.5%）となりました。また、経常利益は139億1千万円（同+0.8%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億2千万円（同+17.8%）となりました。

#### ② セグメント別の概況

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を一部変更しており、前年同期比の金額および比率については、前第2四半期連結累計期間を当第2四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

#### 機能素材

機能素材につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

機能化学品事業は、国内外における自動車生産台数の堅調な推移やナフサ価格の上昇等により、塗料原料およびウレタン原料の売上が増加したことに加え、前第2四半期連結会計期間に買収した米国のディストリビューターの売上が、当第2四半期連結累計期間においては全期間にわたり反映されていることから、事業全体として売上は増加しました。

スペシャリティケミカル事業は、海外では売上は横ばいで推移したものの、国内では半導体関連等の電子業界向けを中心としてエレクトロニクスケミカル、樹脂原料・添加剤の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は896億5千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、52億3千万円（+6.2%）の増収となりました。営業利益は27億1千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、3千万円（+1.3%）の増益となりました。

#### 加工材料

加工材料につきましては、国内・海外ともに売上は増加しました。

カラー&プロセッシング事業は、国内における工業用および包装材料用の合成樹脂、顔料・添加剤の売上および国内外における情報印刷関連材料等の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

OA・ゲーム機器業界への合成樹脂の販売を中心とするポリマーグローバルアカウント事業は、国内、グレートチャイナおよびアセアンにおいて売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は1,414億5千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、96億1千万円（+7.3%）の増収となりました。営業利益は国内外の製造子会社の収益性の改善等により、46億1千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、10億3千万円（+28.9%）の増益となりました。

#### 電子

電子につきましては、国内・海外ともに売上は減少しました。

電子化学品事業は、半導体業界向け等の変性エポキシ樹脂関連や装置関連の売上は好調に推移したものの、フォトソリッド材料の売上が減少したことにより、事業全体として売上は微減となりました。

電子資材事業は、半導体中間工程用の研磨剤関連ビジネスは堅調であったものの、ディスプレイ関連部材の売上が減少したことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は618億2千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、38億8千万円（△5.9%）の減収となりました。営業利益は40億3千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、3億2千万円（△7.4%）の減益となりました。

## 自動車・エネルギー

自動車材料事業は、国内、グレーターチャイナおよびアセアンにおいて樹脂ビジネスが好調に推移したことに加え、カーエレクトロニクス関連部材の売上が増加したことから、事業全体として売上は増加しました。

この結果、売上高は682億4千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、55億円（+8.8%）の増収となりました。営業利益は14億9千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、6千万円（+4.2%）の増益となりました。

## 生活関連

生活関連につきましては、国内・海外ともに売上は横ばいとなりました。

ライフ&ヘルスケア製品事業は、食品素材分野において、トレハ<sup>®</sup>等の売上は海外では減少しましたが、国内では微増となりました。スキンケア・トイレタリー分野では、AA2G<sup>®</sup>の国内外での売上が増加しました。医療・医薬分野では、医薬品原料・中間体・医用材料および製剤事業の売上が微減となりました。この結果、事業全体として売上は横ばいとなりました。

化粧品・健康食品の販売を行うビューティケア製品事業は、全般的に販売が低調であったことから、事業全体として売上は減少しました。

この結果、売上高は429億8千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、4億9千万円（+1.2%）の増収となりました。一方、営業利益は一部の国内製造子会社の収益性の悪化等により21億4千万円と前第2四半期連結累計期間に比べ、1億5千万円（△6.8%）の減益となりました。

## その他

特記すべき事項はありません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債、純資産等の状況

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、売掛金やたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ、180億2千万円増加の3,713億5千万円となりました。固定資産は、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ、58億4千万円増加の2,219億7千万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ、238億6千万円増加の5,933億2千万円となりました。

負債は、短期借入金やコマーシャル・ペーパーの増加等により、前連結会計年度末に比べ、133億円増加の2,739億5千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益103億2千万円を計上したほか、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ、105億5千万円増加の3,193億6千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の53.3%から0.3ポイント減少し、53.0%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、営業活動による資金の支出39億7千万円、投資活動による資金の支出84億1千万円、財務活動による資金の収入89億5千万円に換算差額による資金の増加5億8千万円を加味した結果、前連結会計年度末と比べ28億5千万円（△6.7%）減少し、400億円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少額は、39億7千万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益138億8千万円、減価償却費による資金留保46億5千万円があったものの、運転資本の増加による資金の減少184億5千万円、法人税等の支払27億3千万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、84億1千万円となりました。これは、有形および無形固定資産の取得による支出68億4千万円、投資有価証券の取得による支出16億4千万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加額は、89億5千万円となりました。これは、配当金の支払28億7千万円があったものの、短期借入金の増加109億7千万円、コマーシャル・ペーパーの純増加20億円があったこと等によるものです。

## (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2018年5月7日に公表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,303	40,145
受取手形及び売掛金	225,999	237,782
商品及び製品	67,681	76,116
仕掛品	1,883	2,156
原材料及び貯蔵品	4,106	4,772
その他	10,953	10,773
貸倒引当金	△602	△395
流動資産合計	353,325	371,351
固定資産		
有形固定資産	67,225	68,657
無形固定資産		
のれん	25,478	24,885
技術資産	12,215	11,427
その他	3,396	3,028
無形固定資産合計	41,090	39,341
投資その他の資産		
投資有価証券	100,403	106,654
長期貸付金	109	268
繰延税金資産	2,409	2,210
その他	4,992	4,941
貸倒引当金	△101	△101
投資その他の資産合計	107,813	113,973
固定資産合計	216,130	221,972
資産合計	569,456	593,323

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	118,028	119,595
短期借入金	31,934	43,798
1年内返済予定の長期借入金	11,067	10,630
コマーシャル・ペーパー	5,000	7,000
1年内償還予定の社債	-	10,000
未払法人税等	1,738	2,036
賞与引当金	5,451	4,834
役員賞与引当金	274	148
その他	19,500	17,521
流動負債合計	192,996	215,566
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	17,906	18,333
繰延税金負債	14,420	15,919
退職給付に係る負債	14,518	13,398
その他	809	741
固定負債合計	67,655	58,392
負債合計	260,651	273,959
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,699	9,699
資本剰余金	11,158	10,659
利益剰余金	232,534	239,975
自己株式	△3,114	△3,114
株主資本合計	250,278	257,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,773	53,019
繰延ヘッジ損益	△15	38
為替換算調整勘定	2,917	4,450
退職給付に係る調整累計額	△317	△199
その他の包括利益累計額合計	53,358	57,309
非支配株主持分	5,168	4,834
純資産合計	308,804	319,364
負債純資産合計	569,456	593,323

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	387,501	404,459
売上原価	337,285	351,547
売上総利益	50,215	52,911
販売費及び一般管理費	37,608	39,480
営業利益	12,606	13,431
営業外収益		
受取利息	95	105
受取配当金	881	993
受取賃貸料	135	134
持分法による投資利益	361	337
為替差益	202	-
その他	238	206
営業外収益合計	1,915	1,777
営業外費用		
支払利息	546	743
為替差損	-	374
その他	173	181
営業外費用合計	719	1,298
経常利益	13,802	13,910
特別利益		
固定資産売却益	12	134
投資有価証券売却益	8	1
関係会社株式売却益	-	6
負ののれん発生益	229	-
特別利益合計	250	142
特別損失		
固定資産売却損	20	69
固定資産廃棄損	32	99
減損損失	239	0
投資有価証券売却損	-	0
事業撤退損	449	-
段階取得に係る差損	294	-
特別損失合計	1,035	170
税金等調整前四半期純利益	13,018	13,882
法人税、住民税及び事業税	3,298	2,771
法人税等調整額	813	665
法人税等合計	4,111	3,436
四半期純利益	8,906	10,445
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	124
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,760	10,321

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	8,906	10,445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,151	2,246
繰延ヘッジ損益	△0	53
為替換算調整勘定	1,591	1,436
退職給付に係る調整額	109	118
持分法適用会社に対する持分相当額	103	41
その他の包括利益合計	7,956	3,895
四半期包括利益	16,863	14,341
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,555	14,272
非支配株主に係る四半期包括利益	307	68

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	13,018	13,882
減価償却費	4,589	4,653
減損損失	239	0
のれん償却額	844	907
負ののれん発生益	△229	-
段階取得に係る差損益(△は益)	294	-
事業撤退損	449	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6	△956
受取利息及び受取配当金	△977	△1,099
支払利息	546	743
為替差損益(△は益)	195	591
投資有価証券売却損益(△は益)	△8	△6
売上債権の増減額(△は増加)	△21,157	△10,613
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,630	△8,455
仕入債務の増減額(△は減少)	15,024	614
その他	1,243	△2,125
小計	8,433	△1,864
利息及び配当金の受取額	1,192	1,356
利息の支払額	△549	△728
法人税等の支払額	△2,568	△2,734
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,508	△3,971
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,410	△6,614
有形固定資産の売却による収入	58	488
無形固定資産の取得による支出	△183	△235
投資有価証券の取得による支出	△325	△1,640
投資有価証券の売却による収入	16	12
出資金の取得による支出	△49	△97
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,004	-
短期貸付金の増減額(△は増加)	50	△674
定期預金の純増減額(△は増加)	△183	300
その他	△189	45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,221	△8,414
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	9,064	10,979
コマーシャル・ペーパーの純増減額(△は減少)	7,000	2,000
長期借入れによる収入	6,500	418
長期借入金の返済による支出	△2,330	△636
社債の償還による支出	△10,000	-
自己株式の取得による支出	△15	△0
配当金の支払額	△2,144	△2,879
非支配株主への配当金の支払額	△275	△402
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△453	△498
その他	0	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,346	8,950
現金及び現金同等物に係る換算差額	458	580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,091	△2,856
現金及び現金同等物の期首残高	39,730	42,857
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	4	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,826	40,001

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	84,420	131,839	65,705	62,745	42,493	387,205	295	387,501	-	-	387,501
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,190	1,139	1,005	1,333	223	4,892	2,300	7,193	-	△7,193	-
計	85,610	132,979	66,711	64,079	42,717	392,098	2,596	394,694	-	△7,193	387,501
セグメント利益又 は損失(△)	2,677	3,580	4,354	1,437	2,303	14,353	148	14,501	△2,086	190	12,606

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	全社 (注) 2	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	機能素材	加工材料	電子	自動車・ エネルギー	生活関連	計					
売上高											
外部顧客への 売上高	89,651	141,450	61,820	68,246	42,985	404,154	304	404,459	-	-	404,459
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,444	1,200	851	1,368	197	5,062	2,803	7,865	-	△7,865	-
計	91,095	142,651	62,671	69,615	43,182	409,216	3,108	412,325	-	△7,865	404,459
セグメント利益又 は損失(△)	2,712	4,616	4,031	1,499	2,145	15,005	183	15,188	△2,022	265	13,431

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス、情報処理サービス、職能サービス等を含んでおります。

2. 「全社」におけるセグメント利益又は損失(△)は、各報告セグメントおよび「その他」に配分していない費用であります。

3. 調整額はすべてセグメント間取引消去によるものであります。

4. セグメント利益又は損失(△)の合計の金額に、「全社」および調整額を加えた額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

## (事業区分の変更)

第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において「機能素材」セグメントに分類しておりましたFitz Chem LLCを、「機能素材」および「生活関連」の2区分に変更しております。この変更は事業管理単位の変更によるものであります。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第2四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載していません。

報告セグメントごとの主な取り扱い商品・製品および提供するサービスは次のとおりであります。

「機能素材」セグメントは、塗料・インキ、樹脂、ウレタンフォーム、有機合成、界面活性剤、半導体業界等に対して、主な商品として塗料・インキ用原料、ウレタン原料・副資材、樹脂原料、樹脂添加剤、油剤原料、界面活性剤原料、フッ素ケミカル、封止材原料、シリコン原料等を販売しております。

「加工材料」セグメントは、顔料・添加剤関連、情報印刷関連材料、繊維加工業界並びに樹脂原材料・樹脂成型品、機能性フィルム・シート、土木建築等の業界に対して、主な商品として染料、顔料、機能性色素、情報印刷関連製品、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、自動車補修塗料、導電塗料、合成ゴム、無機材料、合成樹脂資材、樹脂成形機・金型等を販売しております。

「電子」セグメントは、ディスプレイ、タッチパネル、半導体、HDD、電子部品、重電業界等に対して、主な商品としてLCD・半導体前工程用材料および装置、ディスプレイパネル用部材、半導体アセンブリ材料および装置、低温・真空機器、高機能エポキシ樹脂、電子精密研磨剤等を販売しております。

「自動車・エネルギー」セグメントは、自動車・自動車部品業界およびエネルギー業界に対して、主な商品として合成樹脂製品、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、シリコン製品、樹脂成形機・金型、カーエレクトロニクス関連高機能素材・部品、電池材料、太陽電池・二次電池関連部材等を販売しております。

「生活関連」セグメントは、医薬、食品、化粧品等の業界に対して、主な商品として医薬・農薬原料、研究用試薬、検査薬、酵素剤、食品添加物、化粧品添加物、飼料、界面活性剤を販売しており、主なサービスとして放射線測定を提供しております。また、最終消費者に対して、化粧品、健康食品、美容食品等を販売しております。

## 3. 補足情報

## (1) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	106,886	53,636	17,084	7,369	9,926	194,904
II 連結売上高(百万円)						387,501
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	27.6	13.8	4.4	1.9	2.6	50.3

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	グレーター チャイナ	アセアン	米州	欧州	その他	計
I 海外売上高(百万円)	107,444	59,658	19,143	7,207	8,756	202,210
II 連結売上高(百万円)						404,459
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.5	14.8	4.7	1.8	2.2	50.0

- (注) 1. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。
2. 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。
3. 各区分に属する主な国または地域
- (1) グレーターチャイナ・・・中国、香港、台湾
  - (2) アセアン・・・・・・・・タイ、シンガポール
  - (3) 米州・・・・・・・・米国、メキシコ
  - (4) 欧州・・・・・・・・ドイツ
  - (5) その他・・・・・・・・韓国